

LIBRARY NEWS

CHIKUSHI JOGAKUEN UNIVERSITY & JUNIOR COLLEGE LIBRARY

「レッドクリフ」と『三国志』

図書館長 木村 政伸

魏呉蜀の三国時代にまつわる赤壁の戦を描いた映画「レッドクリフ」がはやっているという。恥ずかしいことではあるが、初めて「レッドクリフ」という映画を知った時、それが「赤壁」の英訳だとはわからなかった。中国語で「赤壁」をどう発音するのかは知らないが、まさか漢字の意味をそのまま直訳するとは思ってもよらなかった。

Part IIが上映される前に一度ちゃんと読んでおこうと、長崎の実家にあった弟の吉川英治全集本の『三国志』4巻を自宅に持ち帰り、読み始めた。これまた恥ずかしい話であるが、実は吉川英治を読むのはこれが初めてであった。読み出すと吉川英治の世界に引きこまれてしまい、4巻も長いとは思わなかった。なるほど、中国でも日本でも昔から語り継がれ読み継がれてきた話だと納得するはめに。一方、『三国志』も小説であるからどこまで史実かはわからないが、「レッドクリフ」とかなり違っていることに驚いた。特に孔明と周瑜の関係は映画とはかなり違っている。時間に限りある映画と小説の違いを実感した次第である。










吉川『三国志』を読みながら、元本になっていると考えられる『三国志演義』とどのように違うのか、多忙なためにその検証はできそうにないが、少々興味がわいた。吉川本などが出る以前の近世の教養人はおそらくこの『三国志演義』を読んでいたに違いない。日本語訳も出ているが、もしかしたら漢文からそのまま読んでいたかもしれない。私は近世教育史の研究者であるが、調査のために各地の旧家の蔵書を覗くと膨大な漢文の書物に圧倒されることがある。あれだけの漢文の素養があれば、『三国志演義』はもちろん史書『三国志』も読みこなせたかもしれない。残念ながら漢文の素養のない私としては吉川『三国志』が一番手ごろな読みものである。現在高校教科書の漢文の教材として「赤壁の戦」が所載されているが、さすがに「三国志」全文を漢文から読む人はほとんどいまい。

吉川『三国志』を読んでいると、たまたま同席した友人も『三国志』を読んだという。聞くと横山光輝『三国志』であった。つまり漫画である。横山『三国志』は60巻（文庫で30巻）を超える大作として知られてはいるが、活字が好きな私は吉川本を選んだ。

考えてみれば、『三国志演義』を漢文で読んでいたかもしれない近世の教養人。漢文で読むことなど思いもよらず吉川本を楽しんできた私。さらには活字も面倒くさく漫画で楽しんでしまう友人。もっといえば「レッドクリフ」で「三国志」を楽しむ人たち。それぞれに媒体の特徴からくるよさはあるものの、かける時間は短くなるだけにどれだけ「三国志」の多様な世界に感嘆できるのだろうか。活字の場合吉川英治以外にも北方謙三など多くの作家が競作しているから、選べるのも楽しみだ。映画もいいが、活字の豊かな世界にじっくり浸るのもいいかもしれない。

読書感想文コンクール 第5回

学生のみなさん！図書館を利用して、読書感想文コンクールに応募してみませんか！

-  **応募資格** 筑紫女学園大学(大学院／文学部／短期大学部)の在学生
-  **応募対象書物** 図書館所蔵の書籍(図書館から帯出した本)でジャンルは問いません。必ず、図書のリクエスト記号を書籍名の前に記入して下さい。
-  **応募期間** 2009年(平成21年)5月8日(金)～8月31日(月)
-  **感想文字数** 900字以上1200字以内
(A4紙を使用してパソコンで日本語横書き、35字×35行)
-  **応募場所** 8号館図書館入り口の「感想文提出ボックス」又は、図書館メールアドレス(toshokan@chikushi-u.ac.jp)へ添付ファイルにて投稿。
-  **審査委員会** 図書委員会
-  **審査結果の発表** 2009年(平成21年)10月中
-  **著作権等について** 応募いただいた「読書感想文」の著作権は本学図書館に帰属します。また、入賞作品については、ライブラリーニュースおよびホームページに掲載の予定です。
-  **表彰**
最優秀作品 1～2名(10,000円相当の図書カード)
優秀作品 2～3名(5,000円相当の図書カード)
佳作 3～4名(3,000円相当の図書カード)

感想文作成例

933 S 3 『ライ麦畑でつかまえて』を読んで

筑紫 花子 (英語学科2年)

↑ ホールデン・コールフィールドは気分屋で、変わり者にはちがいないが、彼
35 の自由奔放な行動を見て、私たちは妙に痛快な気分させられる。しかし、本
行 音と建前の使い分けがものを言うこの世の中で、自分の気持ちに正直に生きるこ
↓ とほど困難なことではない。・・・

← 35字 →

宇宙人ジョーンズを知っていますか？

— 図書館の契約データベース紹介その5 —

1 朝日新聞復刻版

昨（2008）年7月、日本図書センターから朝日新聞縮刷版昭和2年版復刻版が刊行され、これによって明治21（1888）年7月10日の東京朝日新聞創刊号から、昭和30（1955）年12月31日号までの朝日新聞記事を読むことができるようになりました。1987年1月に昭和21年版、22年版が刊行されてより22年の長期間にわたる出版事業が完結したとのこと。昭和31年以降は朝日新聞社から縮刷版が毎年刊行されています。但し、本学図書館の所蔵は昭和41年4月版からとなっているため、残念ながら現況では1年余の欠があります。

2 新聞というメディア

今日「情報」を得る手段は多々ありますが、中でも速報性に優れているものはやはり新聞であるといえるでしょう。テレビやラジオのニュース、インターネットの情報などのように、新聞よりも速い情報も昨今は得ることができるようになりましたが、速い情報は必ずしも正確な情報とはいえないのもまた事実です。

確かに新聞でも誤報はありますが、印刷物として形が残る点で時間的に経過をたどる、あるいは遡ることが可能なところは他のメディアにはない、新聞の大きな利点ではないでしょうか。

3 聞蔵（きくぞう）

とはいっても120年分の新聞記事から知りたい情報を探すのは至難の業です。そんな時はデータベースの利用が便利です。朝日新聞の記事は図書館のデータベース「聞蔵（きくぞう）IIビジュアル」でオンライン検索することができます。本文記事まで閲覧できますが、写真が収録されていないものも多いので、写真を見る、あるいは新聞紙面全体を見たい場合などは発行日付を確認して縮刷版を利用すると良いでしょう。

データベースの収録期間は戦後（1945年）から今日の朝刊までとなっていますが、こちらも来年（2010年4月）には明治・大正・昭和戦前編が追加される予定だそうです。

4 毎日Newsパック

図書館の新聞データベースにもこの度「毎日Newsパック」が新しく仲間入りしました。1987年1月1日以降の毎日新聞記事がオンライン検索できるほか、毎日新聞創刊号（明治5（1872）年2月21日）から昭和32（1957）年12月31日までに発行された新聞のうち、重大な事件を報じた紙面が収録されています。こちらも1958年以降の50年分は徐々に追加される予定だそうです。

このほか、毎日新聞の主要記事を英文に翻訳した「Mainichi Daily News」、「週刊エコノミスト」本文なども収録されています。

また、ちょっと変わったところでは「20世紀2001大事件」として、20世紀に起きた事件の記事を年代や事件のジャンルから検索できるページがあります。

5 違いがわかる

前回（Library News No.12 “図書館のデータベース紹介その4”）で百科事典は複数を見比べることをお奨めしましたが、新聞も同様です。単に朝日新聞と毎日新聞の比較だけでなく、同じ新聞で同じ記事を取り扱っている支局ごとの比較もなかなか面白いものがあります。

試しに『宇宙人ジョーンズ』をキーワードにして「聞蔵」、「毎日News パック」をそれぞれ検索してみました。

「聞蔵」では天野祐吉氏のコラム『CM天気図』を中心に6件、現代社会を投影するCMについての評論がヒットします。「毎日Newsパック」ではCMフェスティバル、人気CMランキング調査のニュースが5件ヒットします。また、毎日新聞では同じ調査の記事が西部で芸能面、東京で経済面に掲載されているのもちょっと興味を引くところ。す。

皆さんも何か思いついたキーワードでいろいろ調べてみませんか？集めた情報のひとつひとつは断片的なものかもしれませんが、それぞれの関連性を時系列で探っていくうちに何か見えてくるものがあれば、きっとどんなゲームよりも面白い体験ができることでしょう。





新着資料紹介

Very Short Introductions vol.1～

イギリスオックスフォード大学出版局より刊行中の“Very Short Introduction”シリーズが新しく図書館蔵書の仲間入りをしました（8号館図書館）。

このシリーズは人文科学、社会科学、自然科学などあらゆる分野から学術的なテーマをひとつずつ切り出し、わかりやすい表現で正確かつコンパクトに概要をまとめたもので、テーマは基本的なものから現代的な視点のものまで多岐にわたって幅広く収載されており、質の良い優れた入門書として高く評価されています。

刊行は2000年から開始され、現在は約200冊以上出版されているロングセラー叢書です。また、25以上の言語に翻訳され、原書と併せて世界中で広く利用されているシリーズでもあります。

日本では岩波書店から「1冊でわかる」シリーズ（8号館図書館所蔵）として刊行中です。原書で読むのも良いでしょうし、日本語訳と比較しながら読むこともできます。

☆図書館所蔵の原書シリーズと訳本シリーズの各巻タイトル対照表☆

Very Short Introduction	1冊でわかる	Very Short Introduction	1冊でわかる
Ancient Egypt	古代エジプト	Globalization	グローバリゼーション
Ancient philosophy	古代哲学	Habermas	ハーバーマス
Ancient warfare	ギリシャ・ローマの戦争	Intelligence	知能
Animal rights	動物の権利	Islam	イスラーム
Architecture	建築	Judaism	ユダヤ教
Art history	美術史	The Koran	コーラン
The Bible	聖書	Literary theory	文学理論
The brain	脳	Logic	論理学
Continental philosophy	ヨーロッパ大陸の哲学	Mathematics	数学
Cryptography	暗号理論	Medical ethics	医療倫理
Democracy	デモクラシー	Philosophy of science	科学哲学
Drugs	薬	Plato	プラトン
Emotion	感情	Political philosophy	政治哲学
Empire	帝国	Poststructuralism	ポスト構造主義
Foucault	フーコー	Roman Britain	古代のイギリス
Fundamentalism	ファンダメンタリズム	Terrorism	テロリズム

<参考>その他のおもなロングセラー叢書(図書館未所蔵を含みます)

シリーズタイトル	国	出版社	創刊	
Universal-Bibliothek	独	Reclam-Verlag	1867-	通称「レクラム文庫」。岩波文庫はこれをモデルとして創刊された。
岩波文庫	日	岩波書店	1927-	古典文学作品・学術書として評価が定着したものを収録。マニフェスト『読書子に寄す』は名文として有名。
Bibliothèque de la Pléiade	仏	Gallimard	1934-	通称「プレイヤード叢書」。フランス文学を中心に世界の文学を収録。4号館に作家別に配架。
Collection Que Sais-Je ?	仏	Presses Universitaires de France	1941-	1951年から『文庫クセジュ』シリーズとして白水社が翻訳図書を刊行している。
東洋文庫	日	平凡社	1963-	アジア全域から幅広い分野の古典作品を集めて日本語訳したもの。4号館に所蔵。

発行 筑紫女学園大学・短期大学部附属図書館

〒818-0192 福岡県太宰府市石坂2丁目12-1

TEL 092 (925) 9910 FAX 092 (925) 3318

URL <http://www.lib.chikushi-u.ac.jp>

印刷 久野印刷株式会社